

1. 人権が尊重され、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり
2. 良好な環境が整った、快適で安全・安心なまちづくり
3. 活力ある産業に満ちた、にぎわいあふれるまちづくり
4. 明日の彦根市を担う人を育むまちづくり
5. 人とひととの交流をひろげ、市民文化を創造するまちづくり

用語の説明

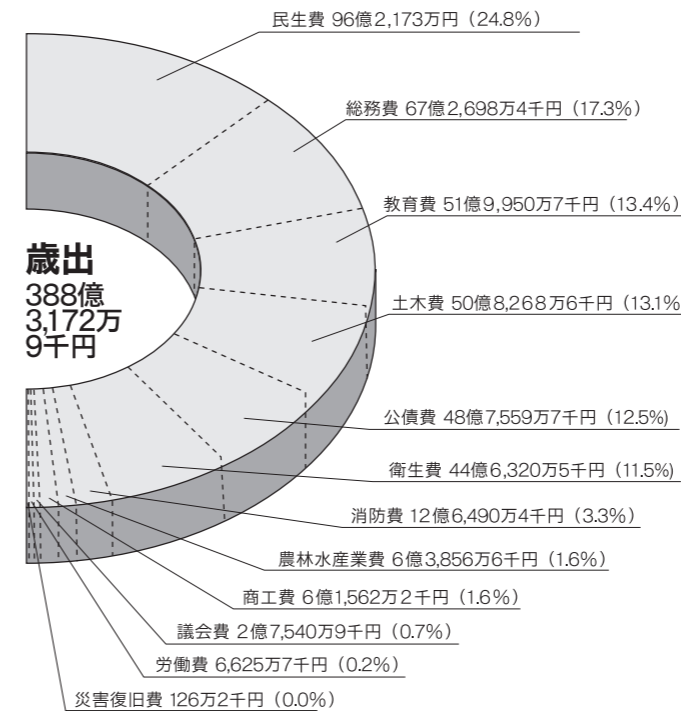
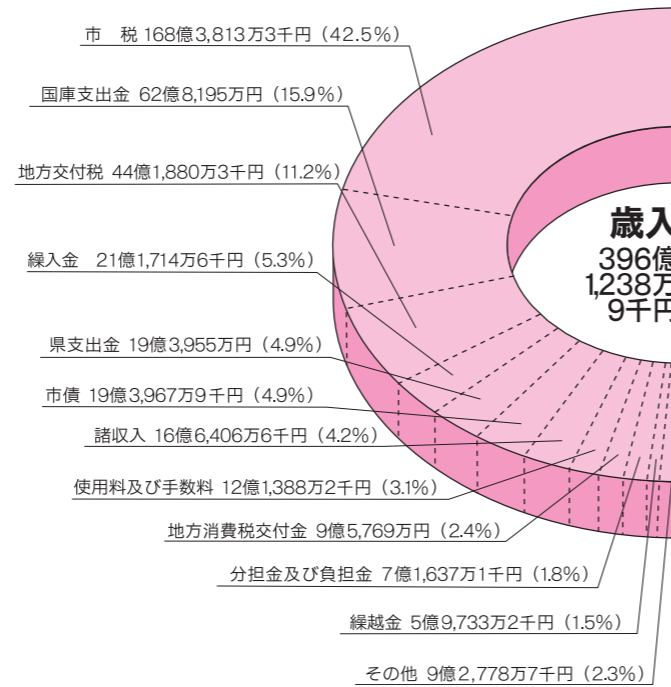
【歳入】

- 市 税：皆さんが市に納めた税金
- 国庫支出金：特定の目的の財源として国から交付されたお金（補助金など）
- 地方交付税：所得税など国が徴収した税金の中から、市の財政状況に応じて国から交付されたお金
- 繰入金：特定の目的のために積み立てているお金を使うために取り崩したお金
- 県支出金：特定の目的の財源として県から交付されたお金（補助金など）
- 市 債：大きな事業を行うために国などから借り入れたお金  
《一般会計市債現在高 324億8,407万8千円》
- 諸収入：ほかの収入科目に含まれない収入（預金利子など）
- 使用料及び手数料：市の施設の使用料や住民票をはじめとする証明書などの交付にかかる手数料
- 地方消費税交付金：県が徴収した地方消費税の一部から市へ交付されたお金
- 分担金及び負担金：市が行う事業によって特に利益を受ける人や団体が納めたお金
- 繰越金：前年度から繰り越されたお金

【歳出】

- 民生費：福祉の充実などに使われたお金
- 総務費：市税、選挙、戸籍の事務や市の発展のための計画を作るために使われたお金
- 教育費：小・中学校などの教育や文化、スポーツの振興に使われたお金
- 土木費：道路や橋、公園などの施設の整備などに使われたお金
- 公債費：大きな事業を行うために借りたお金の返済に支払われたお金
- 衛生費：健康診断や予防接種、ごみの収集・処理などに使われたお金
- 消防費：市民の安全を守るため、消防や防災対策に使われたお金
- 農林水産業費：農林水産業の振興に使われたお金
- 商工費：商工業や観光の振興に使われたお金
- 議会費：市議会を運営するために使われたお金
- 労働費：働く人たちの福祉などに使われたお金
- 災害復旧費：自然災害による被害の復旧に使われたお金

一 般 会 計



特 別 会 計

会 計 名	歳 入 額	歳 出 額
国民健康保険事業	89億2,894万9千円	89億2,430万8千円
住宅新築ならびに改修資金貸付事業	1億2,546万9千円	1億2,546万9千円
下水道事業	69億1,653万3千円	67億3,916万6千円
休日急病診療所事業	8,264万7千円	6,127万9千円
老人保健事業	5,556万6千円	5,497万3千円
農業集落排水事業	2億8,030万6千円	2億8,030万6千円
介護保険事業	54億2,496万8千円	54億2,034万1千円
後期高齢者医療事業	8億5,466万円	8億3,962万2千円

企 業 会 計

会 計 名	収 入 額	支 出 額
病 院 事 業	86億9,915万2千円	89億1,618万7千円
水 道 事 業	20億1,808万4千円	18億3,846万9千円

昨年度、彦根市はどのように収入を得て、何に使ったのでしょうか。平成21年度決算がまとまりましたのでお知らせします。平成21年度の一般会計の決算額は、歳入が396億1,238万9千円、歳出が388億3,172万9千円となり、前年度と比べて、歳入で10・9%

の増加、歳出で10・5%の増加となりました。内訳は左のグラフのとおり、また、特別会計・企業会計は3ページの表のとおりとなりました。  
問い合わせ先 困財政課 ☎301-6107番、FAX 22-11398番

報告 彦根市の財政

平成21年度の使い道をお知らせします

平成21年度に取り組んだ主な事業

- ◆井伊直弼と開国150年祭の開催に対する実行委員会への補助や、新型インフルエンザへの予防対策のため、出前講座などによる普及啓発を行いました。また、市内63公共施設に緊急地震速報システムの設置や分散型備蓄を図るため西沼波町に新たな備蓄倉庫の建築を実施しました。
- ◆愛荘町、豊郷町、甲良町および多賀町と定住自立圏構想の先行実施  
団体として、湖東定住自立圏形成協定を締結し、圏域の活性化につながる事業を記載した湖東定住自立圏共生ビジョンを策定しました。
- ◆認知症高齢者グループホームなどの開設補助や、重症心身障害者通園施設の新設に伴う補助を行いました。また、新型インフルエンザ  
対策として、市内すべての保育園に空気清浄機、エアータオルや消毒液の設置を実施しました。
- ◆農地・農業用水などの保全向上を目指した共同活動や、環境保全に向けての先進的営農活動への支援を実施したほか、神上沼地区の水草（外来種）駆除を行いました。
- ◆市内経済の活性化や雇用創出を図るため、「ひこねプレミアム商品券」の発行や住宅リフォーム促進補助などの事業を実施しました。
- ◆公共交通機関の空白地域や路線バスの利用が少ない地域である河瀬地区で、新たにデマンドタクシーを試行的に導入し、有効性を実証する事業を実施しました。
- ◆耐震基準に満たない西中学校の耐震補強や各小中学校のLAN整備など、情報通信技術環境の整備を実施しました。また、生徒数増加に対応するため、高宮小学校の校舎増築事業や東中学校の校舎などの改築事業に取り組みました。

